

平成25年行政事業レビューシート

(復興庁)

事業名	「新しい東北」先導モデル事業		担当部局庁	復興庁	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度～未定		担当課室	統括官付参事官(総合政策担当)	参事官 海堀 安喜		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「新しい東北」の創造に向けて(中間取りまとめ) (平成25年6月5日 復興推進委員会)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	人口減少、高齢化、産業の空洞化等の従来からの課題を抱えたままの復旧ではなく、復興を契機にこれらの課題を克服し、我が国や世界のモデルとなる創造と可能性の地としての「新しい東北」を創りあげることが必要であり、被災地で芽生えている先進事例をしっかりと後押し、「新しい東北」に向けた地域の取組を加速化することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>○ 「新しい東北」の実現に向け、被災地で既に芽生えている先進事例を育て、横展開を進め、東北、ひいては日本のモデルとしていくため、被災地の住民や団体の発意により、「新しい東北」に資する先導的な幅広い取組みを公募し、支援する『「新しい東北」先導モデル事業』を実施。</p> <p>○ プロジェクトの立ち上がり段階における、専門家派遣や実証事業、関係者の合意形成など、ソフト分野を中心に、様々な取組みを包括的に支援。</p> <p>○ 平成25年度からの継続事業及び平成26年の新規事業を対象とする。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算				1,500	
		補正予算					
		繰越し等					
	計					1,500	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	先導モデル事業における各プロジェクトは、提案者の属性に依存し、その内容や規模は様々であることから、定量的な指標を設定することはできない。	成果実績					
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	モデル事業の採択件数	活動実績 (当初見込み)			()	()	()
単位当たりコスト	(円/)	算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	新しい東北」先導モデル事業	—	1,500				
	計		1,500				

事業所管部局による点検					
		項目	評価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	復興の加速化のためには、被災地で既に芽生えている先行事例を育て、横展開を進め、東北、ひいては日本のモデルにしていく必要がある。現在、国(復興庁)が被災地で活躍する有識者の意見等を踏まえ、把握を進めているところであり、事例の把握で先行しており、国レベルでの有識者の知見の活用が可能な国が事業を行う事が適当と考えられる	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点 検 結 果	「新しい東北」の実現に向けた被災地の主体的な復興の取組を推進し、復興を加速化させるとともに、我が国や世界のモデルとなる「創造と可能性ある未来社会」の形成を促進するものであり、復興支援のために必要な経費である。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
「新しい東北」に向けた地域の取組を加速化するため、効果的・効率的な事業の実施に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年		平成23年		平成24年